

メンバー、ボランティア、学生
みんな仲間!

けやきと仲間 めーる



こころの病と闘っている人々と千葉大学生や周囲地域との協働の会 地域活動支援センター「けやきと仲間」

平成 27 年 5 月 1 日 (第 121 号)



絵画の時間の作品

花畑

一輪挿しの花も可憐だけど
ひとりはさみしい
友達が欲しくても
心通うひとはいない

こんな花畑のように
優しい心の持ち主がたくさん
みんなで寄り添って
美しく咲くといいのに



詞: 吉川 博
挿絵: 小野澤 有羽

ホワイトポプラさんありがとう

馬田さんが植えてくださったホワイトポプラ・・・スクスク育って、いつの日かその木の下にテーブルとイスも置かれていました。

また、日高さんが亡くなった時には、その根元に小さな花束を手向けたことなどが思い出されます。

作業の合い間はもちろん、体を動かす気力がなくそこに座っているだけでも、心が和みました。そして、ハーブティータイムも楽しかったです。そんなすてきなホワイトポプラがどんどん育ち、ぐんぐん根が畑の方まで広がってきました。その生命力の強さに驚かされ、励まされました。

この3月、4月大がかりな剪定と根っこ掘りをしました。剪定した太い幹が、4月20日には腰かけ代わりに使えるようになりました。これからはその椅子も、私たちの気持ちを和ませてくれることでしょう。

ホワイトポプラさん、これからもよろしく。



齋藤 毅さんとの会話より

Sさんの誕生日である4月19日、何人かでカラオケに行きました。

ボクも4月生まれで27歳になりました。Sさんが「今日は僕のために集まってくれてありがとう」ととても嬉しそうでした。

ボクはガオの「さよなら」と綾香の「虹いろ」などを歌いました。N子さんはAKBの曲を何曲も歌い、新しい歌をよく覚えられるなど感心しました。主役のSさんは自分では歌わず、人にマイクを近づけるばかりでした。カラオケの後、Sさん・Kさん・ボクで居酒屋に行きました。Kさんは、月15日就労していて、Sさんも就職塾に通っているそうです。お二人の話を聞いていて、ボクもなにかできるんじゃないかと思いました。働きたいけど、何をしたいかわからず、最近ちょっと将来の事を考えると不安だったのですが、少し明るい気持ちになれました。これからは、自分の気持ちの間口を広げていけたらと思います。先輩の人たちとじっくり話が出来て、ボクにとっても素敵なバースデープレゼントでした。



4コマ漫画「ピーなっちゃん」が今回で30回目となります。毎月書いてくださっている糸日谷さんありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。読者の皆さんも原案がありましたらお寄せください。

その糸日谷さんが喘息で参加できなかった、**お花見**を4月3日に行いました。千葉大学の図書館前の広場に陣取り、花吹雪の中でサンドイッチやおにぎり、お団子などを食べ、至福の時間を過ごしました。



川柳

親が言う結婚許す5年後に

5年後に病気が治りゴールイン

悪いけどボクは5年も待てないよ

そこが好き落ち込み後の捨身ぶり

ドキドキだ出してしまった履歴書を

面接をキャンセルせずが目標だ

疲れても就職塾は続けたい

頑張るぞシルバーセンター登録だ

朝起きて雪降る空に桜散る

花吹雪いくら喰っても空腹だ